

トラブル対策（詳細説明）

IC カードリーダーライタのインストール時のトラブル対策

本件につきましては、LASCOM の榊原様より情報を頂戴しました。

・ USB 供給電力不足によるものについての説明 その1

IC カードリーダーライタの動作不安定の原因としては USB の供給電力不足に起因するものが多いようです。USB ハブで手軽に接続ポートを増やせるのですが、バスパワー方式という USB ハブ（電源アダプタなしで 電力をパソコンに依存しているもの）を使用している場合には、同時に接続される機器によっては電力不足になるようです。症状としては次のような状態です。

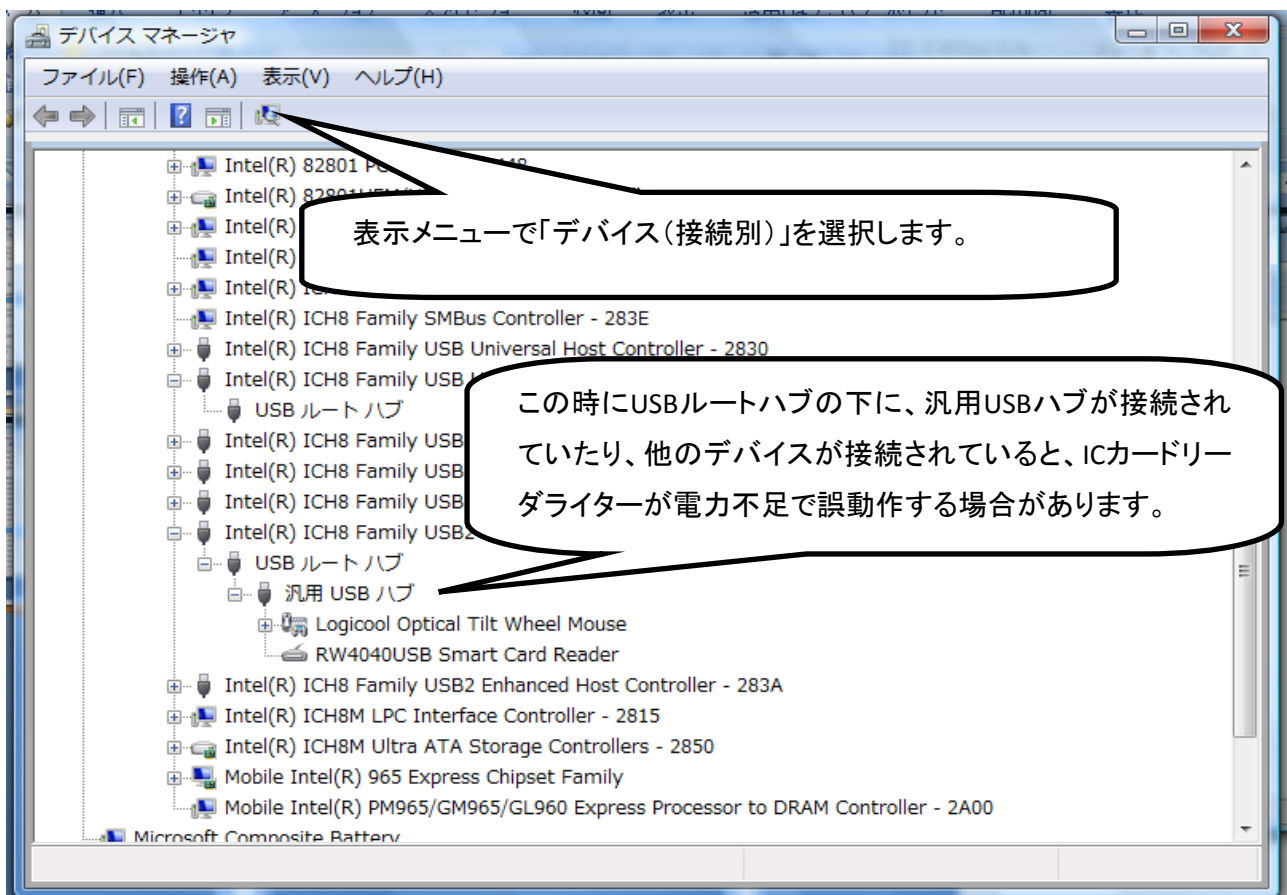
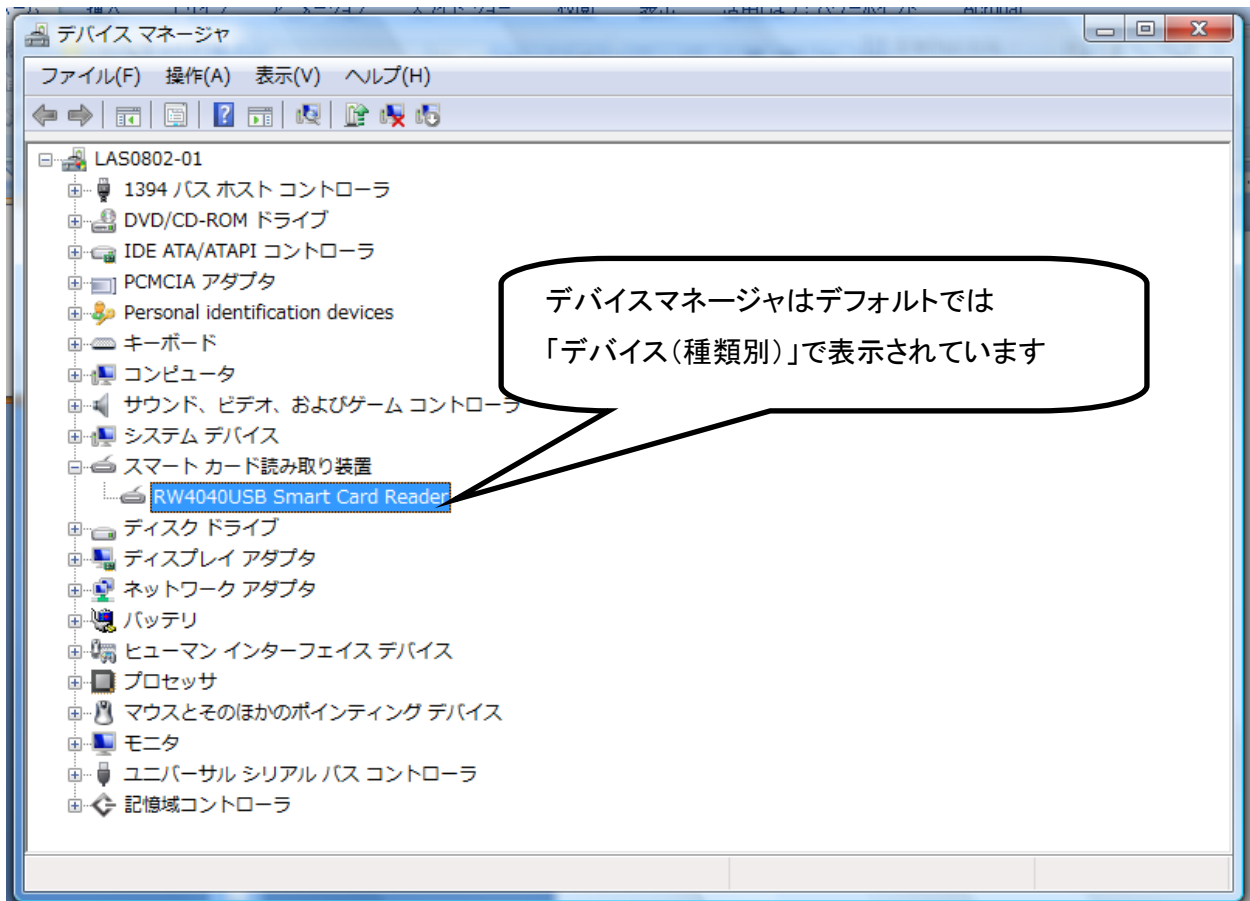
- ・利用者クライアントソフトの動作確認をすると OK
- ・自分の証明書を表示するとエラー表示が出る。
- ・この症状は出たりでなかったりする。

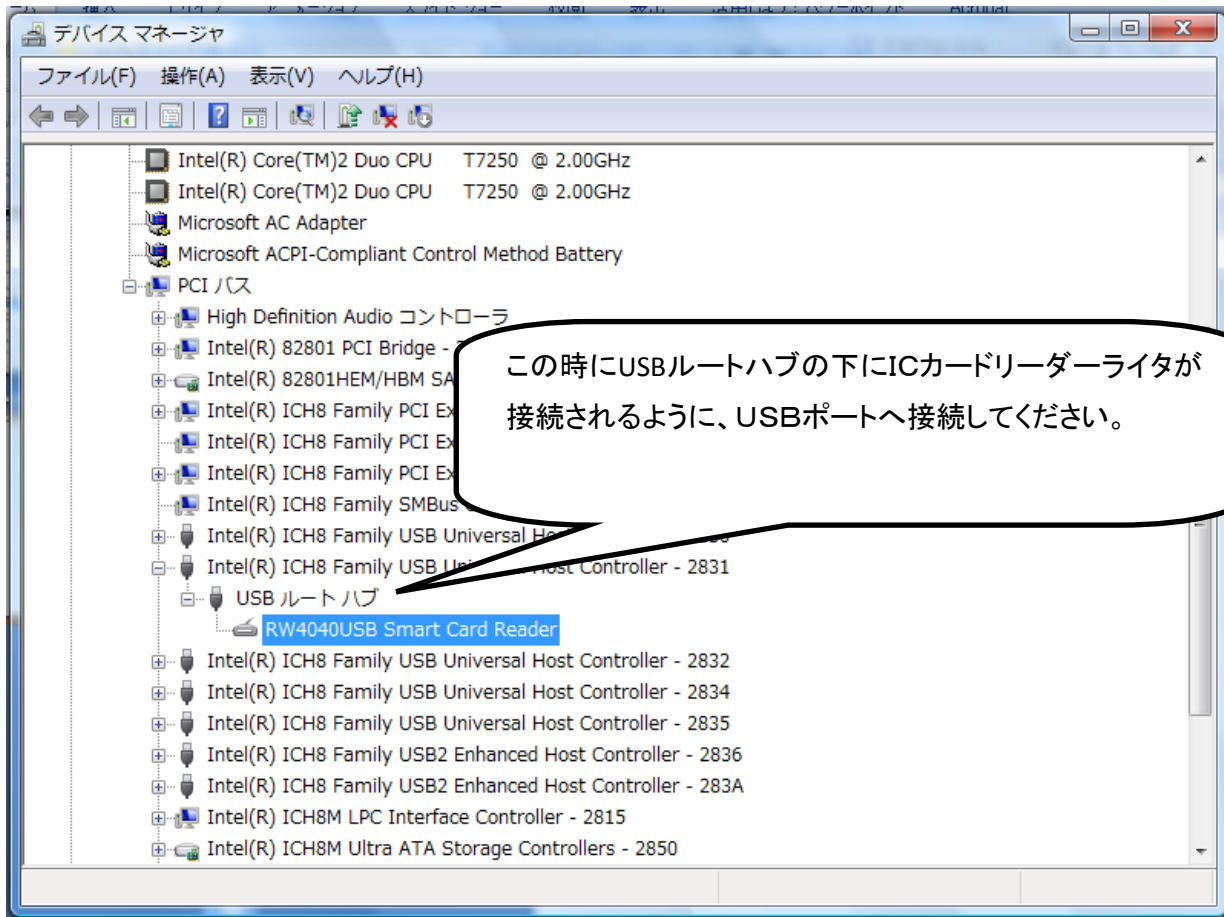
動作確認では OK ですが、証明書を読む際には電力消費が増えるので動作異常になるようです。

USB の電力消費の大きいデバイスとしては次のようなものがあります。

- ・レーザー式マウス
- ・ブルートゥース（無線）装置
- ・携帯電話の充電
- ・ハードディスク
- ・バス給電方式の USB ハブ

これらの機器と同じ USB ハブへ接続しないようにご配慮ください。どのような構成かは、デバイスマネージャで添付の手順で確認し下記のような状態になるように接続しなおすと安定動作すると思います。

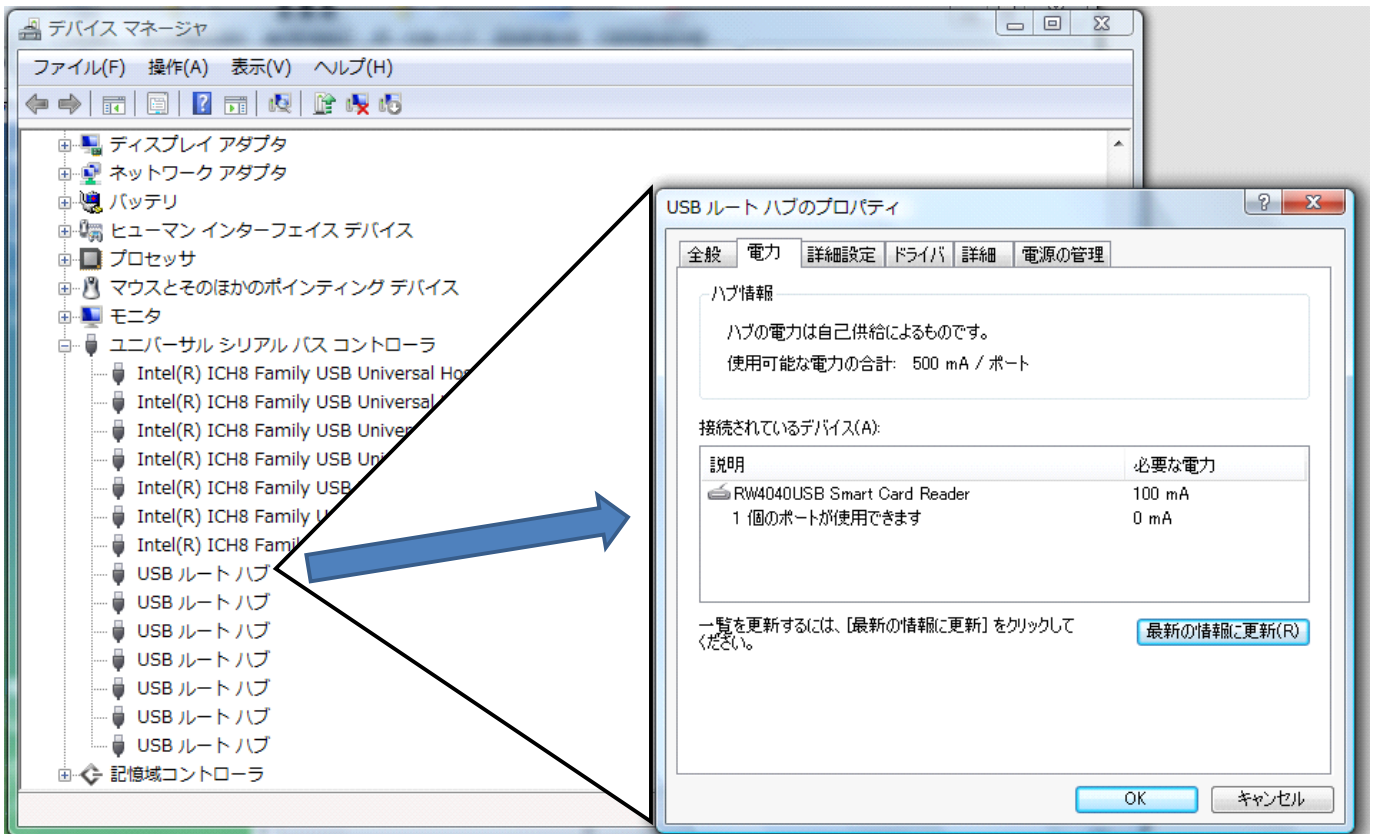




・ USB 供給電力不足によるものについての説明 その2

WindowsXP 以降はデバイスマネージャの USB ルートハブのプロパティに電力タブが追加されており、使用可能な電力と接続されている機器がどのくらいの電力を必要とするのかを確認できるように改善されています。添付資料の USB ポートでは、500mA 使用可能でそのうち 100mA をカードリーダーライターが消費していることがお分かりいただけると思います。

JPKI 利用者ソフトにて自分の電子証明書が表示されたり、時々エラーになるなどの場合には、ここをご確認いただき、使用可能電力の余力が少ない場合は余力のあるポートに接続変更をお願いいたします。使用可能電力の概ね半分以下で使う方が良いという意見でした。



- ・デバイスマネージャのUSBルートハブのプロパティを表示する
- ・電力タブを選択すると、接続されている装置が表示され、必要な電力が表示されます。使用可能な電力の半分程度までが目安になります。

・ SONY 製 IC カードリーダーライターの問題

e-TAX ヘルプデスクより、SONY 製リーダーライターが使えない場合があるという情報がありました。

SONY 製は非接触方式のため、電波を出してカードへ電力供給を行います。ところが、スチール机の上に置いて使用するとスチールが電波を反射することから十分な電力供給ができず、カードが読めないという問題を起こすようです。

SONY 製は机に直置きではなく、厚めの本を下に敷くとかして使用していただいたほうがよいようです。

HP やカタログでの記載は次のようになっています。

「本製品を置く机などの材質が鉄などの金属の場合、カードとの通信に失敗するなど、本製品が正常に動作しないことがあります。

正常に動作しない場合は、机などの金属から数センチ程度離してお使いください。」

http://www.sony.co.jp/Products/felica/pcrw/rdw_rcs330.html